

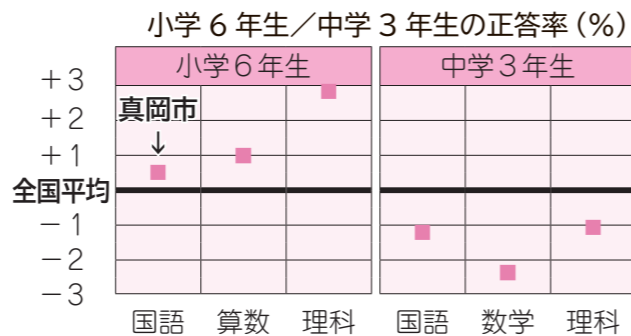
# 全国学力・学習状況調査 とちぎっ子学習状況調査の結果から

4月に実施された「全国学力・学習状況調査」(小学6年生、中学3年生対象)および「とちぎっ子学習状況調査」(小学4・5年生、中学2年生対象)の結果をお知らせします。  
(問・学校教育課教育政策係Tel 81-9052)

## 全国学力・学習状況調査 (小学6年生 / 中学3年生)

小学6年生は、国語の「目的に応じた文章作成」や算数の「図形」では高い正答率だった一方、国語の「文章と図表の関連付け」は低い結果となりました。

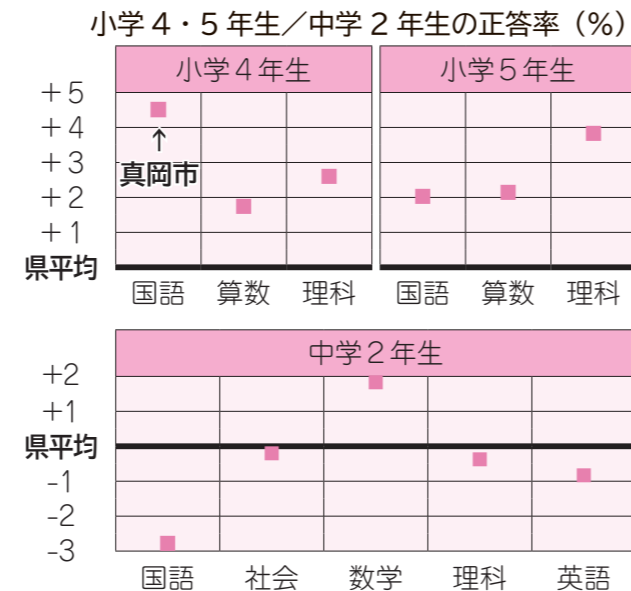
中学3年生は、国語の「根拠を明確にした文章作成」や理科の「地層」問題で高い正答率でしたが、国語の「文章表現の効果」や数学の「一次関数」の理解力について問われる問題は正答率が低く、無解答の生徒も多く見られました。



## とちぎっ子学習状況調査 (小学4・5年生 / 中学2年生)

小学4・5年生は、国語の「漢字の読み書き」や「自分の考えを明確にする力」算数の「基礎的な知識・技能」理科の「植物や昆虫に関する理解」がしっかり身につけていました。

中学2年生は、社会の「地理」英語の「文章理解」数学や理科の「基礎知識」が定着していることが分かりましたが、国語の「言葉の使い方」や「資料と関連付けて自分の考えを表現する力」をさらに伸ばす必要があります。



## 調査結果を踏まえて

真岡市では、調査全体を通して、選択式に比べ記述式問題の正答率が低くなる傾向が見られました。各々の教科で出てくる重要な単語や言葉について、確実に理解していくことが大切です。学校では、新しい時代に求められる資質・能力を育成するため、調査で明らかになった課題を踏まえて授業改善を図り、子どもが主体的に学び、友達と考えを伝え合いながら学びが深まるような授業を実践していきます。



## 質問調査から分かったもおっ子の傾向

全国学力・学習状況調査の「質問調査」は、児童生徒の学習意欲や生活習慣、教育条件などが学力とどのように関係しているかを分析しています。

### もおっ子は理科が好き！

「理科の勉強は好きですか」という質問で、肯定的に回答した児童生徒の割合が全国平均より高く、小学6年生で86.3%、中学3年生で73.4%となり、もおっ子は理科への関心が高いことが分かりました。

理科の勉強は好きですか?(%)

学年	真岡市	全国
小6	86.3	81.5
中3	73.4	68.6

### 前向きに学ぶもおっ子

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という質問に肯定的に回答した児童生徒の割合が全国平均より高く、主体的・対話的に学習に取り組む、前向きに学ぶと子どもが多いことが分かりました。

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか?(%)

学年	真岡市	全国
小6	86.3	81.5
中3	73.4	68.6

## 中学3年生の理科の問題(CBT方式)にチャレンジ！

令和7年度全国学力・学習状況調査の中学3年生の理科は、紙ではなく CBT 方式(学習用端末を使用し て調査を行う方式)で行われ、生徒の実態や学校の状況に応じて、柔軟に調査場所を選べるようになりました。

### 実際に出題された問題を解いてみましょう

図のスケッチを見て分かることとして、最も適切に説明しているものを1つ選びなさい。



- ①特徴を捉えてかかれていますので、写真が無くてもスケッチから色などを推定することができます。
- ②大きさが分かりやすくかかれていますので、実際の大きさがイメージしやすい。
- ③スケッチされた植物の特徴が分かるようになっていますので、ほかの植物と比較しやすい。
- ④葉の細胞や茎の断面の様子などを調べたいときに調べることができ、ほかの植物との違いを比較することができます。

この問題では「スケッチをするときは、生物の特徴に着目して表現することが大切である」ことが理解できているかを問う問題です。正答は③です。②を選んでしまう生徒が多かったが、図のスケッチには、大きさを示すスケールがないため、植物の実際の大きさをイメージしにくく、誤答となります。



## 今後は各調査が学習用端末で実施されます

令和8年度からとちぎっ子学習状況調査が「CBTとちまるチェック」に変わり、令和9年度からは全国学力・学習状況調査も CBT 方式で行われます。今後も学校や家庭で学習用端末を使用したドリルや日本語・英語による文字入力等を積極的に行い、操作に慣れておくことが必要となります。